

Weekly Report

2009~2010年度



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブのシンボルは百合の花。これは、世界に広がる希望の象徴。ここに多くの上昇の光がある。知る他の道は、より深く、より広く、より高く、より美しく、より豊かに。清純な乙女を感じ、さよさらばである。昭和55年春吉日 大友五

平成22年5月11日(火)
第1535回例会
会長 田内 三和
幹事 安藤 志子
会報 関山 秀男

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1535回例会記録 平成22年5月11日(火) 39/45回

<点鐘> 田内会長

<ソング> 君が代 奉仕の理想

<お客様ご紹介> 田内会長
米山奨学生 呼日楽 巴図君

田内会長より奨学金の授与と玉井カウンセラーより紹介の後、ご本人挨拶がありました。

「私は日本のボランティア団体の植樹活動に参加したことで、日本の文化と教育に興味、関心を持ち、2003年に留学しました。現在は専修大学大学院で英語・英米文学専攻で音声学の研究をしています。将来的に、教育を通して内モンゴルと日本の友好関係に役立てればと思っています。皆様のおかげで奨学生として勉強ができ感謝しています。よろしく願いいたします」。



<祝い事> 嶋親睦委員長
入会記念 大矢会員、玉井会員、碓井会員、寺尾会員
夫人誕生 白井会員、中島眞一会員、井上勇会員、吉田会員、安藤亨会員の奥様



<会長報告> 田内会長

先に、理事会の報告をいたします。

・6/8(火)は奥様感謝デーです。あと30名ほど募り盛大に行いたいと思っています。ご協力よろしく願いいたします。

・今年度の米山奨学生をよろしく願いいたします。

・社会福祉協議会の件

安藤登次期会長に依頼しました。以下、会長報告です。

1. ロータリー米山奨学会より感謝状が届きました。

第4回表彰 田内会長、第5回表彰 渡邊会員

2. 米山功労者

第1回 嶋会員、第2回 安藤志子幹事

3. 麻生社会福祉協議会より、連絡会長だよりが届いています。

<幹事報告> 安藤志子幹事

*会報着 新川崎RC

*その他

・稲田ニュースが届いています。

・本日もチリ地震義援金のご協力をお願いいたします。

・6/8(火) 移動例会 6:30点鐘です。

第1537回	5月25日	本年を省みて	委員長報告
第1538回	6月8日	家族会	移動例会 帝国ホテル
第1539回	6月15日	本年を省みて	委員長報告

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ニコニコ委員会>

結城委員長

当クラブより 田内会長→「桐光学園、優勝おめでとうございます。関東大会がんばってください」。安藤志子幹事→「バト君、みんなと楽しくロータリーを楽しんでください」。安藤登会員→「息子の結婚祝い、ありがとうございました」。小塚会員→「おかげさまで、高校野球春季大会に優勝しました。来週より茨城で関東大会です。応援ありがとうございました。また、中村俊輔がワールドカップのメンバーに選出され、学園あげた様々な応援プログラムが実施されます。こちらの方も応援よろしくお祈いします」。大矢会員→「桐光おめでとう」。関山会員→「桐光学園おめでとう」。以下、感謝をこめてニコニコへ。中村会員、鴨志田会員、中島健児会員、吉田会員、佐藤会員、東会員、嶋会員、北島会員、伊丹会員、野島会員、安藤亨会員、鈴木会員、山口篤会員、高田会員、内藤会員、山口福枝会員、井上勇会員、中島眞一会員、渡邊会員、山崎会員、佐々木会員、寺尾会員、結城会員。

<出席委員会>

佐藤委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1535回	42※	33	9		78.57%
第1534回	42※	34	8	5	92.86%

*出席免除会員1

<ロータリー財団>

渡邊委員長

井上勇会員→「今年度、目標達成」。伊丹会員→「今年度の目標達成しました」。山口篤会員→「ノルマ達成です」。中島健二会員→「今年度達成」。

<米山奨学委員会>

安藤亨委員長

山口篤会員→「やっとノルマ達成です」。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	29件	57,000円	1,017件	1,139,000円
財団	4件	21,500円	47件	432,500円
ベネファクター	0件	0円	2件	180,000円
米山	1件	20,000円	43件	594,700円

本日のプログラム

<新世代育成委員会>

渡邊委員

新世代育成部門の会議の報告をいたします。

新世代育成部門に属する委員会は次の4委員会です。

1. インターアクト 2. ローターアクト 3. 国際青少年交

換 4. ライラ です。

地球の未来を託すべき新世代の育成は大きな目標です。ロータリアンの責務は若い世代のニーズを認識して活力を高め、将来への準備をさせることです。クラブと地区は新世代を支援するプロジェクトに着手するように奨励されています。基本的ニーズとは、①健康 ②人間の価値 ③教育 ④自己啓発 です。

素晴らしい世界を後世に残すためには、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。新世代のためのロータリーのプログラムは若い参加者の意識や人生を変えるものです。



<社会奉仕委員会>

鴨志田委員

清水良夫パストガバナーより社会奉仕のあり方について説明がありました。内容は2007年手続要覧84ページに記載の決議 23-34、1条 ロータリー奉仕の理念、2条 ロータリークラブの役割、3条 国際ロータリーの役割、4条 実践哲学として、5条 クラブの自治権、6条 社会奉仕実践の指針 です。

次に寺尾三樹男氏より、社会奉仕とロータリー財団の関わりについての説明がありました。

最後に、市川緋佐磨氏より社会奉仕と職業奉仕について、職業奉仕とは社会への恩返しであるとお話がありました。

グループ討論では、人道的補助金について、各クラブより金額を多くして欲しい、メ切が早い等、意見が出されました。

<社会奉仕委員会より連絡事項>

第12回セーフティ・チャレンジ・かながわ「無事故・無違反コンクール」に今年度も参加します。